

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	197 共同浴場管理経費	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	03	同和行政費
基本施策	39 部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	目	02	共同浴場費
		細目	101	共同浴場維持管理経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	共同浴場管理経費
担当部課	コード	101100		担当者氏名
	名称	人権生活環境部八幡町市民館		
		連絡先	中川 貴雄 23 - 3157 (内線)	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	地域住民及び周辺地域住民	※対象件数
成果(どうする)	共同浴場を開設することにより、地域住民の保健衛生及び生活環境の向上が図れる。	
根拠法令・要綱等	伊賀市営共同浴場条例	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	平成18年度から指定管理者制度の導入により、八幡町自治会へ共同浴場(しろなみ湯)の管理運営を委託している。	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	八幡町自治会
3 規模・構造		2 配置人員	6人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	8,895 千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
共同浴場開館日数		日	目標	310	目標	310
			実績	310	実績	311
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
共同浴場利用者数		年間の利用者数	人	目標	31000	目標	31000
				実績	31333	実績	30589
入浴料金		年間の利用料金 (大人150円、小人80円)	円	目標	4700000	目標	4700000
				実績	4543150	実績	4433930

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求	
					(千円)
直接事業費計(A)	9,939	11,000	9,697	9,697	
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	4,400	4,400	4,600	4,600
	一般財源	5,539	6,600	5,097	5,097
事業投入人件費(B)	0.3人 2,160	0.3人 2,160	0.3人 2,160	0.3人 2,160	
フルコスト(A)+(B)	12,099	13,160	11,857	11,857	

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	この地域では、公衆浴場は必要な施設であるが、管理運営面での検討が必要。
	個人(の)力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	○
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】	○
	受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	燃料費の高騰により、利用料の見直しも必要である。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 長年にわたり現行のままであるので、収支バランスの面や、意識付けの面からも検討している。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	富岡 通郎
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 当分の間、指定管理者制度により、管理運営を委託する。
現時点における課題、その他	
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	